

決算審査報告

令和元年度 決算をチェック!



東予港の現地調査

決算審査とは、予算の執行や各事業が適正かつ効果的に行われているかということ審査するものです。

令和元年度各会計の決算議案3件について、本市議会では、決算審査特別委員会を設置、令和2年9月28日から9月30日までの3日間で関係箇所の現地調査及び書面審査を行い、12月定例会初日(令和2年11月30日)に、いずれも認定しました。

このページでは、委員会での審査の一部をお知らせします。



移住促進事業の成果は?

移住フェアなどでのPRにより、移住検討者の注目を集めることができた。体験ツアーでは、1人の職員が1家族専属の移住コンシェルジュとして担当し移住希望者と信頼関係を構築するとともに、SNSを活用した戦略などにより、2年間で10組28人が本市へ移住している。

産前産後ヘルパー派遣業務委託料が増額した理由は?

授乳やおむつ交換などの育児支援、食事準備などの家事援助を希望するかたに対し、子育てモバイルサービスなどによりPRを行った結果、想定以上の利用申し込みがあったことから、大幅な増額となった。

ローカルベンチャー誘致育成事業委託料の成果は?

地域おこし協力隊の令和元年度売り上げ合計額は約1,000万円で、空き店舗を活用した各起業家の拠点が市内6か所に整備されるなど、地域経済活性化に一定の効果が表れ始めている。また、多数のメディアで紹介されるほか、チャレンジを支援するしくみが構築されつつある。

西消防署河北出張所完成による効果は?

令和元年10月の開所から令和2年8月までの河北出張所近隣地区である三芳、楠河、庄内の3地区における出動件数は228件であり、覚知から現場到着までの平均時間を12.5分から8.9分に短縮することができたことから、河北出張所を含めた高規格救急車6台体制による効果が表れている。